

令和元年度第6回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和元年10月29日（火） 午前10時30分から11時50分まで
- 場 所： 市立病院本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 森 一樹, 黒田 啓史, 半場 江利子, 松本 重雄, 能見 伸八郎,
山本 みどり, 白須 正
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 折戸経営企画局次長, 濱口経営企画課長,
北川京北病院事務長

1 開会

2 議事・報告等

(1) 月次収支（8月まで）報告

資料1に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 給与費が増加しているが、何か対策に取り組まれていることはあるのか。
→ ヒアリングを実施し、削減に向けて議論を行っている。
- 消費税増税前に何か対策はされたのか。
→ 物品等の購入を計画的に行った。

(2) 収益状況月次（9月分）報告

資料2に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 延べ患者数の合計が、前年度と比較して低い。
→ 5月の10連休や9月の3連休の影響のため、患者数が伸びていない。
- 平均在院日数が短くなっている。収益に影響しているのではないか。
- 在院日数を適切な日数内に短縮することで、単価増につながり、収益増にも結び付いている。ただ、利用率が悪いのが課題である。新入院患者を増やすために、紹介患者の受入れ、救急の受入れを積極的に行っていくべきであると認識はしている。
- 市立病院は、もっと利用率を上げていくべきである。
→ 患者数の増加は必要であると認識している。
- 救急車の搬送件数は伸びている。
→ 救急の体制を強化したことが大きい。

(3) 病棟編成の変更について

資料3に基づき、折戸経営企画局次長から説明

(4) 賠償案件について

資料4に基づき、折戸経営企画局次長から説明

3 閉会